

西伯病院の現状 と改築の概要

平成15年7月3日

西伯病院

国民健康保険「西伯^{さいはく}病院」の現状及び

改 築 の 概 要

H15.7.3

1 現病院の概要

(1) 所在地 鳥取県西伯郡西伯^{さいはく}町大字倭^{やまと} 397番地

(2) 病院の規模

病床規模：210床（一般科102床、精神科108床）

一般科102床のうち、

60床は、医療療養型30床と介護療養型30床

診療科：11科

常設科：内科、外科、整形外科、小児科、精神科、神経科、
リハビリテーション科、歯科、麻酔科

非常設科：婦人科（週2日）、耳鼻咽喉科（週1日）

延床面積 7,406.38㎡

(3) 病院建設年次

精神病棟 昭和38年5月

一般病棟 昭和60年9月

(4) 位置関係及び周辺の状況

鳥取県の西部地域に所在

隣接する約14万人の米子市から車で20分程度に位置

米子市内には、鳥取大学医学部附属病院（697床）、山陰労災病院
（410床）等、高機能病院が所在

同市内には、精神科を有する病院が3病院、精神科の病床数の計は
602床

西伯町内（人口約8,400人）に3診療所所在

（内科1、内科・小児科1、歯科1）

(5) 患者の状況

平成13年度 入院患者 62,354人

うち65歳以上 30,255人（48.1%）

外来患者 79,579人

うち65歳以上 45,592人（57.3%）

入院外来比率 1.28

2 現病院の主な課題

(1) 施設・設備関係

老朽化・狭隘化

介護保険施設基準、医療法基準不適合

患者食堂未設置、廊下幅（両側居室）約1.9m

大部屋仕様

一般病棟（全31室、102床）は、5人以上室の

部屋数割合が14室、約45%、病床割合が75床、約75%

病院全体（全59室、210床）では

部屋割合が22室、約40%、病床割合が124床、約60%

検査室が外来診療室から離れている等、患者動線が長い 等

(2) 医療関係

内科、整形外科等、医師（外来診療室）の不足

精神科の特性が活かされていない

リハビリ機能の不足

(3) 在宅支援関係

通所リハビリ、訪問看護等、在宅支援機能の不足

精神疾患患者の社会的入院（入院患者の約1/4）の解消と中間的施設への支援

3 新病院の目指している方向

急性期医療は、米子市内の高機能病院に委ね、回復期リハビリテーション及び療養型の機能を持つ病院を整備することとし、新病院には、以下の特徴を持たせる。

(1) 在宅支援機能の充実

通所リハビリテーションの実施等

訪問看護の実施（H15から実施）

(2) 精神科医療の地域への開放

痴呆性高齢者やストレス性疾患等の専門医療相談

痴呆性高齢者の症状改善手法の実証研究

回想法による症状改善のための取組みを展開予定

痴呆専用病床の設置（20床）

精神障害者の中間的施設での生活支援

(3) IT化の推進

米子市内の高機能病院（鳥取大学医学部附属病院を想定）と連携した遠

隔画像診断の実施

電子カルテの導入 等

4 新病院の規模等

現在は、200床以上の大病院に分類されているが、国の病床抑制政策により、大病院の診療報酬が低減傾向にあること及び在宅支援機能の充実を図る必要性や現在の精神科における社会的入院の状況等を考慮し、病院全体としては198床、一般科、精神科それぞれを99床とする。

(1) 病床構成

病 床 区 分	現 行		計 画		増 減 病 床 数	
	病 床 数	割 合 (%)	病 床 数	割 合 (%)		
一 般 病 床	102	48.6	99	50.0	-3	
内	急 性 期	42	20.0	42	21.2	0
	療 養 型	60	28.6	57	28.8	-3
内	医 療	30	14.3	15	7.6	-15
	介 護	30	14.3	42	21.2	12
訊 訊	う ち 短 期	2	1.0	4	2.0	2
精 神 病 床	108	51.4	99	50.0	-9	
内	急 性 期	46	21.9	50	25.3	4
	内	精 神 科	46	21.9	30	15.2
訊 訊		痴 呆	0	0.0	20	10.1
訊 訊	療 養 型	62	29.5	49	24.7	-13
合 計	210	100.0	198	100.0	-12	

注：現行の精神病床は、急性期、療養型の区別がないため、2階を急性期に、また、3階を療養型に分類した。

(2) 病室の構成

区 分	個 室 病 床 数	4人室 病 床 数	ICU 病 床 数	病 床 数 合 計	個 室 病 床 割 合 (%)
急性期	12	28	2	42	28.6
医療療養型	3	12	0	15	20.0
介護療養型	6	36	0	42	14.3
精神科急性期	30	20	0	50	60.0
うち痴呆	16	4	0	20	80.0
精神科療養型	17	32	0	49	34.7
合 計	68	128	2	198	34.3

(3) 病棟等への付加設備等

病棟

- ・療養病棟には、患者食堂と十分な広さの談話室を設置
- ・家族面談室を各病棟に設置
- ・医療相談室（カンファレンスルーム）を各病棟に設置
- ・退院支援のため、一般科及び精神科に家族宿泊研修室を設置

病室

- ・退院後の在宅生活への移行を勧奨し、各室にトイレ、洗面を設置
- ・1人当たり病室面積は、8㎡を確保

(4) 外来診療部門

患者動線を短縮するため、中央検査室及び中央処置室（点滴室を含む）を設置。なお、中央処置室は救急処置室と隣接して配置

画像診断部門を集中して配置

心療内科を新設するとともに、内科、整形外科をそれぞれ1診増設

5 現時点で想定しているスケジュール概要

基本・実施設計 平成15年度

建設工事 平成16年度～平成17年度

6 改築事業費及び収支見込

現時点で想定している事業費等は以下のとおりである。

(1) 資金計画

総事業費 約55億2千万円

年度別事業費及び財源内訳

(単位：億円)

区 分	総事業費	年度別内訳			
		H15	H16	H17	
総事業費		55.2	2.7	17.0	35.5
財 源	補助金	3.5		1.0	2.5
	起 債	50.7	2.7	16.0	32.0
	一般財源	1.0			1.0

(2) 収支見込み

資金ベースでは、平成17年度以外の全ての年度で黒字見込み

*平成17年度の企業債繰上げ償還財源については、西伯町が基金を造成する等の方法により、責任を持って対応

*借入金は、県からの自治体病院補助金、交付税措置額及び病院の収益のみで返済可能と見込んでいる。